

企画展示 寺家遺跡 国史跡指定 10周年

史跡 寺家遺跡を 知り、守り、伝える。

～これからの史跡整備に向けて～

2020年 整備のための発掘調査
寺家遺跡祭祀地区 大型焼土遺構

史跡寺家遺跡の出土品を展示し、国指定から10年の史跡整備事業の取り組みを紹介します。

令和3年

10/5(火) ~ 12/5(日)

9:00 ~ 17:00 ※入館は16:30まで

入館無料・会期中無休

羽咋市歴史民俗資料館 2階



2018年『整備基本計画書』史跡公園イメージパース

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期の変更や臨時休館などの措置を取る場合があります。最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。[はくいし れきみん](#)

同時開催 展示コーナー

柳田シャコデ廃寺跡
発掘調査速報！！

寺家遺跡の重要関連遺跡の古代寺院遺跡。8年をかけた発掘調査の成果を速報で展示します。



はくいしれきしみんぞくしりょうかん Hakui City Museum of History and Folklore

羽咋市歴史民俗資料館

〒925-0027 石川県羽咋市鶴多町鶴多田38-1 TEL: 0767-22-5998



国指定から10年。寺家遺跡の史跡整備に向けて。

寺家遺跡は、奈良・平安時代の気多大社の祭祀（神まつり）を支えた人々の様子がわかる遺跡です。この遺跡を調べることで、古代の羽咋の「祈りの歴史」が明らかになっていきます。古代の神社のようすがわかる遺跡は全国的にも貴重であり、その重要性から平成23年度（平成24年1月24日）に国の史跡に指定されました。今年度でちょうど10年を迎えますが、この間、羽咋市では「保存管理計画」と「整備基本計画」を策定して、遺跡の価値を明確にし、これを「守る」ための保存管理の方法と「伝える」ための整備・活用の基本方針を定めてきました。

今回の企画展では、現在進行中の「整備のための発掘調査事業」の最新情報を紹介し、寺家遺跡の将来の史跡整備を展望します。ぜひ、史跡公園整備へのみなさんのご意見をお聞かせ下さい。

寺家遺跡のこれまでのとりくみ

昭和53年（1978）

能登有料道路の建設工事で寺家遺跡が発見される。

昭和53～55年度（1978～1980）

石川県による発掘調査により、古代気多大社に関連する重要遺跡であることが明らかになる。

昭和56～平成20年度（1981～2008）

史跡指定をめざし、羽咋市が遺跡の範囲を確認するための調査を実施。

平成22年度（2010）

これまでの調査成果をとりまとめた『発掘調査報告書 総括編』を作成。

平成23年度（2011）

平成24年1月24日。寺家遺跡が国の史跡に指定される。

平成24年度（2012）

寺家遺跡保存管理計画の策定事業を開始。国指定記念企画展「古代寺家遺跡の世界」を開催。

平成25年度（2013）

『寺家遺跡保存管理計画書』を作成。史跡を「守る」方針と方法を定める。

平成26年度～現在（2014～）

寺家遺跡の価値をより明瞭化するため、重要関連遺跡「柳田シャコデ廃寺跡」の発掘調査事業を開始する。

平成29年度（2017）

寺家遺跡整備基本計画策定事業を開始。史跡整備シンポジウムを開催。シンポジウム記録集を作成。企画展「寺家遺跡と気多大社」を開催。

平成30年度（2018）

『寺家遺跡整備基本計画書』を作成。史跡の価値を「伝える」整備と活用の基本方針を定める。

令和元年度（2019）

企画展「気多の神々」を開催。

令和2年度（2020）

整備のための発掘調査事業を開始。祭祀地区大型焼土遺構の再調査を実施。



第16次調査（2005） 大型焼土遺構が発見され、大きな注目を集めました。



史跡整備シンポジウム開催（2017）。大学教授や文化庁調査官などを招き、遺跡の価値と今後の整備を語りました。



企画展「寺家遺跡と気多大社」開催（2017）。学芸員の展示解説も行い、遺跡の価値と魅力を伝えています。



『寺家遺跡整備基本計画書』は、羽咋市ホームページで公開しています。PDF版の閲覧ができます。

https://www.city.hakui.lg.jp/kyouiku_bunka_sports/rekishi_bunkazai/2/9124.html



羽咋市歴史
民俗資料館
Hakui City Museum of History and Folklore

